
「証券投資の日」記念イベントの参加者アンケート結果について

証券知識普及プロジェクト・平 20.11

証券知識普及プロジェクト（日本証券業協会、東京証券取引所グループ、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、ジャスダック証券取引所、投資信託協会、名証取引参加者協会の9団体で構成）では、平成20年10月2日（木）から11月3日（月）までの間、平成20年「証券投資の日」記念イベントを全国9地区23都市27会場で開催し、7,879名の参加をいただきました。

イベント会場にて回収したアンケートの結果について、下記のとおり取りまとめましたのでお知らせいたします。

本プロジェクトといたしましては、今回のアンケート結果等を踏まえつつ、今後も証券知識の普及・啓発活動を推進して参りますので、引き続きご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

記

「証券投資の日」記念イベントにおける参加者アンケートの集計結果（概要）について

- 参加者は、男性が全体の72%を占めた。
- 年齢層別では、60代以上が57%を占めた。
- 職業別では、無職が39%、会社員が27%、主婦が14%であった。
- 本イベントにはじめて参加した人は61%であった。
- 証券投資を現在行っている人が78%、過去に経験があるが現在は行っていない人が12%、未経験者は10%であった。
- 証券投資を現在行っていない人（未経験者を含む）の56%が、証券投資を現在行っていない理由として「よくわからない(知識がない)」を挙げた。昨年に比べ「投資に回す資金がない」「リスクが高い」などの回答が増加した。
- 証券会社や金融機関に期待することとして、64%が「迅速・的確な情報提供」を挙げ、証券投資の理解を深める方法として80%が「講座やセミナーへの参加」を挙げた。
- いわゆる「タンス株券」を保有している人のうち、株券電子化を「確かに知っている」が84%、特別口座について「確かに知っている」は64%であった。
- 証券あっせん・相談センターについて知っている人は25%であった。
- 平成20年「証券投資の日」記念イベントに対するアンケート回答者の感想は、9割の人が「大変良い」または「良い」との回答であった。

(単位：名)

イベント 地区	平成 20 年「証券投資の日」記念イベント			最近の参加者数	
	参加者数	回答者数	回収率	平成 20 年 春季セミナー	平成 19 年 「証券投資の日」
東京（5 会場）	2,215	1,172	52.9%	2,330	2,192
大阪（6 会場）	1,762	1,216	69.0%	1,877	2,641
名古屋（5 会場）	1,166	835	71.6%	1,114	1,091
北海道	403	235	58.3%	375	361
東北（2 会場） <small>(注)</small>	442	244	55.2%	178	406
北陸	320	161	50.3%	276	476
中国（3 会場）	624	449	72.0%	537	471
四国（2 会場）	395	355	89.9%	230	509
九州（2 会場）	552	379	68.7%	350	664
合 計	7,879	5,046	64.0%	7,267	8,811

(注)東北地区のうちの1会場は、他組織主催のイベントへのブース出展である。

このイベントにおけるブース来場者については、上表の参加者数として計上していない。

以 上